

目次

1面

東京から日本の政治を変えよう
共闘の力で蓮舫氏を新知事に

藤本愛子

HOWS夏季セミナーへの呼びかけ
「現在」とその変革のビジョンを

杉林佑樹・HOWS事務局

2面

2024HOWS夏季セミナー（7月20日(土)～22日(月) 神奈川県藤野）
実りある討論のために HOWS夏季セミナー 講師から一言コメント

第1講座

自分たちが「職場のルールを作る」

藤本愛子（国交労連）

「綱領」作成にむけたわたしたちの思い

須田光照（全国一般東京東部労組書記長）

第2講座

日付のある小説の力

山口直孝（二松学舎大学教員）

「われわれ」と「われ」のあいだ

立野正裕（明治大学元教員）

第3講座

第三世界の中のレーニン思想

林裕哲（朝鮮大学校外国語学部准教授）

第4講座

明るい未来を語りあう時間を

尹成銖（在日本朝鮮青年同盟中央本部国際部長）

朝鮮との連帯と世界革命

大村歳一（活動家集団思想運動事務局責任者）

第5講座

クリティシズムの復権へむけて

佐藤勇輝（20世紀フランス文学・思想研究）

1つの挿話から

伊藤龍哉（文芸評論家）

第6講座

退廃し尽くした帝国の地からパレスチナについて考える

黄貴勲（在日本朝鮮社会科学者協会大阪支部）

3面

住民が原告となった辺野古訴訟
高裁が原告適格を認める

白充（弁護士・辺野古住民訴訟弁護団）

地方自治権の剥奪と沖縄の闘い
与那国、石垣、名護のいま

阪上みつ子

4面

大久保製塩支部元委員長・杉田育男さんをしのぶ会
受け継がれる「人間を取り戻す」闘い

米丸かさね

イラスト通信
フリーランス新法とフリーランスへのハラスメント

広浜綾子

「外務省ALPS処理水」パンフに関する組合意見
全国一般・全労働者組合 執行委員長 池田英樹、少年写真新聞社分会 分会長 二瓶奈保美

1日も早い争議の解決をJAL本社前の要請行動

村上理恵子

5面

要請 2024年夏季醸金へのご協力を

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

一連の自衛隊幹部らの“靖国接近”を考える
その背景に「偕行社」の存在

内田雅敏（弁護士）

陸自HPが牛島司令官辞世の句掲載
沖縄で「削除」求める声広がる

編集部

寄稿 青年労働者の政治的無関心の原因

小央高人（自治労青年部組合員）

6面

京都祝園弾薬庫の増設反対！
「ほうそのネット」設立し説明会開催求める

駒井高之（米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会 運営委員）

駐日キューバ新大使歓迎会でのあいさつ
フィデルの言葉を手放すまい

国際短信 世界のいま
〈アルゼンチン〉労働者への攻撃が続くなか第2回ゼネスト

編集部

〈インド〉モディ政権、政権維持率を高めることはできず

編集部

7面

米覇権、最後の抛りどころ東アジア
朝鮮半島で狂乱的な戦争演習がつづいている

李東埼（ジャーナリスト）

ギリシャ共産党が力を増した欧州議会選挙
そこには人民とその闘いが脈打っている

8面

関東大震災ジェノサイドをめぐる対話
100年のタブー 裕仁の責任を問う

前田朗（朝鮮大学校講師）

案内 東京朝鮮中高級学校管弦楽団チャリティーコンサート 2024年8月21日(水)

前照灯
都知事選なんだけど……

9面

象徴天皇制延命のための共同謀議
与野党協議が不問に付した天皇制の根本問題

山下勇男

川柳

笑い茸

10面

原発事故から13年——多発する小児甲状腺がん
子ども甲状腺がん裁判に支援を

宮口高枝（脱被ばく実現ネット）

ブックレット紹介

『わたしたちは見ている 原発事故の落とし前のつけかたを』（市民が育てる「チェルノブイリ法日本版」の会・柳原敏夫／小川晃弘編）

原発事故被災者の声（43）

ALPS汚染処理水の海洋放出差し止め訴訟
2回目の口頭弁論での東電側対応は

國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

4月から訪問介護の報酬引き下げ
零細事業所、高齢ヘルパーを守れ

日向よう子

11面

ブランクーシ展を観て
《苦しみ》から《空間の鳥》へ

松岡慶一

催物案内

12面

映画時評

『丸木位里 丸木俊 沖縄戦の図 全 14 部作』

三つの時間の層をつなぐ媒体

岡村幸宣（原爆の図丸木美術館 学芸員・専務理事）

頂門一針

挑戦しない「新プロジェクトX」

演劇時評

劇団民藝『オットーと呼ばれる日本人』

国際反戦活動の原点からいまを問う

大橋省三

HOWS 役重講座に参加して

安由璘（朝鮮大学校外国語学部 4 年）

編集部発